

ものづくり

熊谷の工芸

第46回公募 熊谷市美術展

日時：4月4日(水)～4月8日(日)
場所：熊谷市立市民体育館



熊谷市美術展 表彰楯

第46回の今年度より使用

- 青磁陶板
原画(熊谷椿・熊谷草)：大野百樹先生
岩田隆先生 制作
- 樟拭漆
花輪滋實先生 制作
- 銅版プレート
山岡克行先生 制作



自製の型を使った表現を極めてゆく 陶芸 岩田 隆さん



佐谷田の旧家、岩田家は熊谷の市街地に隣接し、また田園風景の残る地域に佇む。表札が白釉の陶板にお名前が彫り込まれ、外壁に連なる屋敷門に良く合っている。広い中庭の片隅に工房が設けられ、二メートルの本格的ガス窯、こぶりのな窯、等々蔵の一部を利用して陶器の桶の数々に圧倒された。工房で陶芸教室も開催されている。

岩田さんは熊谷市文化センター所長を最後に二〇〇八年に市役所を退職。二十代から茶道を習っており、茶道具を自分で作り始めた事から陶芸に引き込まれていった。茶道具に在る陶芸作家、会田野生先生に師事。茶道具、日常の器を中心に制作した。陶芸の分野では成形のために使用する型は、専門職人に委ねる事が通常であった。岩田さんはこの型を作ることまで手を染めた。益子の日比野亮峰先生が指導する日比野成型所に入所して、型作りを習得した。作品は織部、黄瀬戸に代表される「桃山陶」が中心。



新橋樹社員 熊谷市美術家協会会員 ★お問合わせ 048-521-5227(岩田)



伝統工芸は現代を表現する創作 花輪滋實さん

日本工芸会正会員
埼玉県美術家協会会員(工芸)
★お問合わせ
電話 048-524-7635(花輪)

た合子。轆轤師としての誇りと魂を感じさせると評された。伝統工芸は古いものではなく現代にマッチしたものも表現する創作が必要だと花輪さんは言う。日常の器を製作すること、相手を理解してもらいたいという気持ちをもってもらえることが大切。熊谷市美術家協会の副会長として現在活躍中。四月四日〜八日開催の熊谷市美術展に力を注いでいる。(H)



花輪滋實先生 ミニギャラリーはでが工務お隣の手打ちそばはBGMのクラシックおははるよく合います。熊谷の美を石込みの本格派。蕎麦の美を石で扱っています。 ■手打ちそば「藍」048-522-6654

人形

絆...観音様のお導き 持田澄枝さん

熊谷の積善六センチを記録した日。持田さんご自宅にお尋ねした。間近に迫った「公募熊谷市美術展」の出店作品の制作に集中おられる時だった。窓辺には石上寺の新築なった本堂が程好い俯瞰を持って広がっている。昨年十一月七日から十二日、持田家の菩提寺である、お隣の石上寺で個展を開催された。本堂に出品された人形一体一体に、ご住職様はお心のお授け式を行って下さった。と持田さんは「個展」の感激を伝えてくれた。

制作される人形は桐材をあら彫りした木芯に桐塑(とうそ)と言う桐の粉を練り合わせた物を入れてゆき、磨き、和紙を張り、布を木目込む。色胡粉磨き、顔ものに刷り込んで超人的制作、工夫が練り返される。人形制作は四半世紀に及ぶ。ものづくりが好きだったと言われる持田さんは「主人の転勤で札幌在住時は部屋の中にいる時間がたつり有り、北海道は木彫りが盛ん。その頃は木彫りが盛んな。部屋に片隅に置かれた本に熟中する女の子の像が目に残った。



埼玉県美術家協会会員(工芸) ★お問合わせ 048-5221-6255(持田)



真髄の美を求めて わたなきようこさん

天保年に発祥する「泥七宝」。わたなきさんは熊谷に住んでから泥七宝に十三年、格闘の日々を送る。

明治五年にガラス釉薬による、現在の透明感のある七宝が改良された後、人々にはもちろ心に心酔し、泥七宝は完全に途絶えてしまっただが、文化庁が日本工芸会に再現を依頼。書籍も師もない中「決死の思い」で取り組み、七宝芸術社主催の講習会で講師を務めるなど泥を七宝界に広めた。

泥釉薬は陶芸材料の土と顔料で成る。マットな肌合い、気泡やピヒが特徴で、洗い落ち着き、気品がある。絵の輪郭の真鍮線の鈍い金色が、質感をより引き立ててく。硬い真鍮線の扱い、奥技が解けたのは七宝歴三年の今だと言った。

また、顔料のベンガラ発祥の地・岡山県テラコッタの像は隙のない造形であった。これも目も。人形制作は総合芸術と言われる由縁を実感した。

平成十八年に開催された京都の人形寺・宝鏡寺の公募展に出展。人形には人の心を捉えて離さない魅力があり、親や周りの人々の愛情を表現している。また、大人になり忘れても、かつて愛情をうけていたことが呼び覚まされると評された。「あの頃」と主題とした作品。

石上寺の本堂に「木花咲耶姫」と題する持田さん作の人形が納められている。皆さんが石上寺を訪れ人形に会って頂き、東日本大震災で心のすざむか、人形から明るさ、ぬくもりを感じてもらえれば大変嬉しい」とおっしゃる。人形には人々の心により強く語りかけ、共に過してくれる力がある。(H)



平成23年度 伝統工芸諸工芸展 日本工芸会賞 泥七宝、吹屋紅柄、文置物

ガラスに魅せられて 各務ひとみさん

生きる意味を問い、答えを求めて仏教を勉強していた大田大学四年の時、「二十世紀ヨーロッパ工芸展」でガラスのオブジェを観た各務ひとみさん。その時「雷が落ちて、これだ」と思ったという。そして、熊谷ガラス工房、次いで富士山造形研究所で勉強を始める。二年経った頃、ある作品を作ったが、何故か、ずっともな涙が出た。ずっと生まれてきた事、後継者が初めて生まれてきて良かった。と思えた瞬間だった。ガラスを作るために生きてきたのかも、解けなかつた問いの答えが見つかった。湧き上がる喜びを体中で伝えてくれた。

ガラスは素朴にして面白い。技法によって変化する色んな表情が出る。光を通す「グラス」と「ガラス」を語る。今、力を入れているのは住宅などの建築物に組み込むオーダーメイドで作るガラスパネルや、表札など。施工の趣味や要望をガラスの中に表現する。世界に一つしかないその作品をお客様は本当に喜んでくれるという。それが二〇〇〇年の力になる。

いつかガラスの素材を上手く活かすしかも自分しか出来ない作品を作りたい、少しは住宅などの建築、各務さんの感性が、透明なガラスにそのままだ笑になる日かきと来ると期待したい。(O)

★お問合わせ 048-5221-2412(横田) http://www.yunochio.com/sensyoku.com



熊谷市市長 横田 透さん

本物を作る喜び 横田 透さん

熊谷染を語る時忘れてはならないのが横田三郎氏。熊谷染の先駆者であり、また多くの弟子を育て、熊谷のみならず関東一円に輩出した。透さんは教えた四代目に当たる。

横田工務は「宇野千代きもの染色工房」としても高く評価されている。宇野さんが亡くなって十一年、今年宇野千代きもの「復活」が復活した。

透さんの父三郎氏が腕の良さをかかれ「宇野千代きもの」を染め始めたのは昭和三十三年。それ以来、横田さんと宇野さんとの交流が始まった。若き透さんは宇野さんを通して本物を見、素晴らしい人々に会い、様々な事を学んだ。茶碗がわからなければ着物もわからない、という宇野さん。学生だった透さんは、骨董の目利きで、

熊谷染 次世代に繋ぐ使命 染谷政示さん

熊谷にはかつて百軒以上の染物屋が軒を連ねていて、今では数えるほどしか残っていない。その中であって株式会社ソナヤは昭和六十一年埼玉県伝統工芸モデル工場、そして、平成六年県内十九番目の彩の国工場に指定され、一度に正反の染色が出来るなど、関東に於いては最大規模、充実した設備の染色工場を誇る。

社長の染谷政示さん自身、平成十二年埼玉県より伝統工芸士と認定、熊谷市からも優秀技能者の認定を受け、熊谷塾で講師を務めるなど、まさに、熊谷染の伝統と技能を継承する第一人物と言える。

「着物は縁、こういう民族衣装を着ている民族もいないのではない」と語る染谷さん。工場では「型紙」を使い、小紋の染色をしている。二月



★お問合わせ 熊谷市瀬南1-3-0 048-524444(染谷)

食彩工房 旬亭
和と洋のコース料理専門
仕出し料理 出張料理
御祝いから御法要まで
★お問合わせ
TEL 048-599-3111
FAX 048-599-3112
熊谷市鎌倉町138

Gift アニバ
人と人とのコミュニケーション
「贈りもの」をとおして手伝い
★熊谷店 熊谷市肥塚3-4-10
0120-25-6313

くぼじまクリニック
医療法人 大島 譲二
理事長・院長
熊谷運動公園北・入院設備有
〒360-0831 埼玉県熊谷市大字久保島1785-2
電話：048-533-7511(代) FAX：048-533-4606
http://www.kuboijima.com

be with y
yは、あなた(you)のy。そして、八木橋(yagihashi)のy。
これまでも これからも
Yagihashi
熊谷・八木橋
〒360-8502 熊谷市神町74番地
TEL.048-523-1111
http://www.yagihashi.co.jp

(有)ナトーライフ コンサルタント
短期入所生活介護 居宅介護支援
通所介護 訪問介護 介護タクシー
熊谷市小島449-1 ☎048-530-1710

安政5年創業から156年
食品卸一筋
株式会社 平松
〒360-0801 熊谷市中奈良1797-1
048-521-0026

三船
ランチメニュー
ライス 850円
カレー 850円
ハンバーグ 850円
親子カツ丼 900円
ライスかつ丼 900円
ランチ 11時半～14時
17時～21時
夜店 日曜
本日はランチのみ営業
熊谷市鎌倉町79
048-522-2967

自然環境に優しいソーラーシステム
夏涼しく、冬暖かい「そよ風」
田部井建設株式会社
TEL.048-588-1551